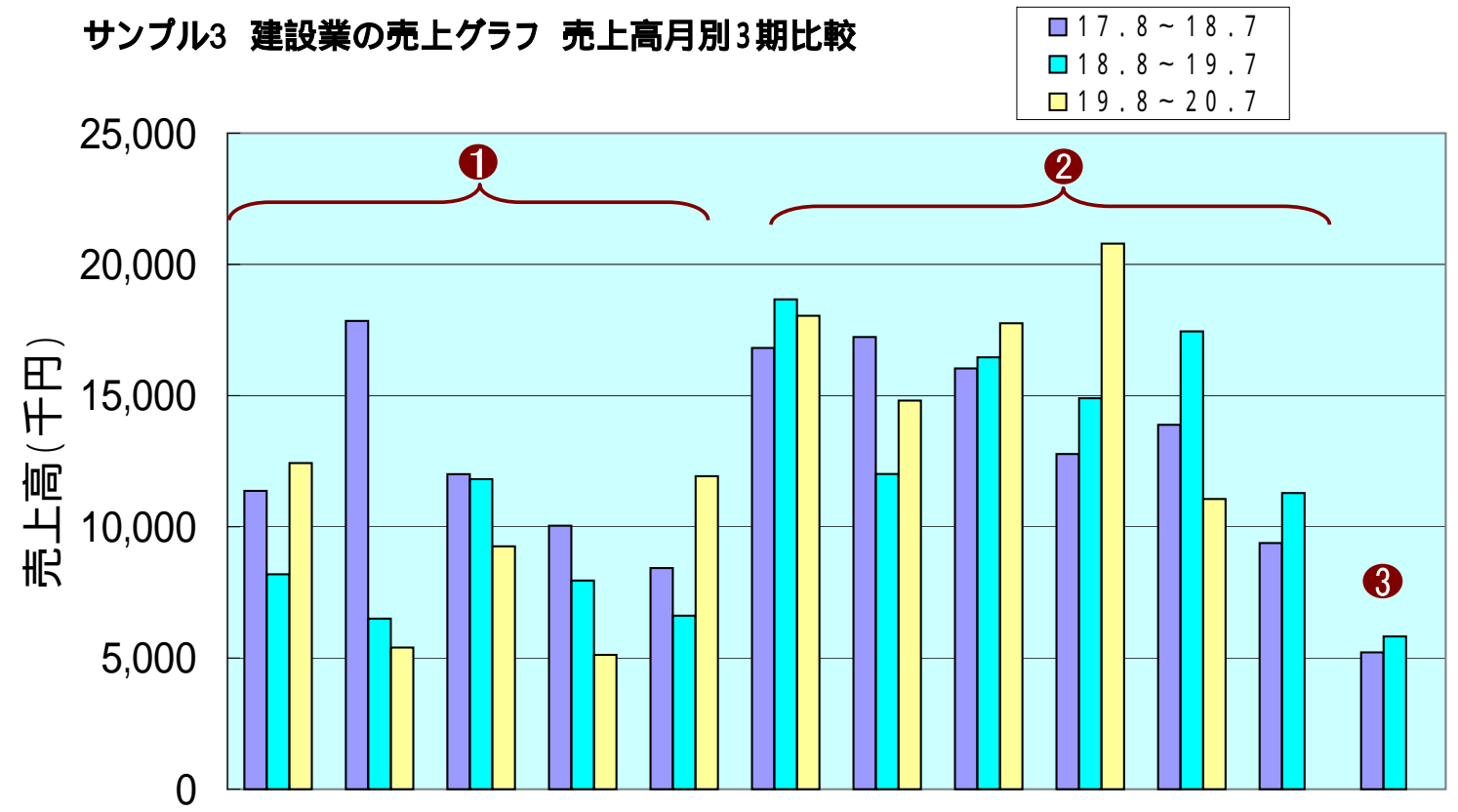


サンプル3 建設業の売上グラフ 売上高月別3期比較



サンプル3 建設業の売上グラフ

3年間の売上高の推移グラフです。
 3年間の売上高の増減の確認。
 当社にとって強い月、弱い月の確認。
 以降決算月までの売上高の推移の計画。
 等にご使用ください。

(単位:千円)	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	仮計	決修	決算
19.8~20.7	12,429	5,397	9,254	5,122	11,927	18,040	14,807	17,758	20,793	11,059	0	0	126,586		126,586
上記累計	12,429	17,826	27,080	32,202	44,129	62,169	76,976	94,734	115,527	126,586	126,586	126,586			
18.8~19.7	8,189	6,498	11,814	7,953	6,613	18,665	12,010	16,458	14,898	17,449	11,285	5,823	137,655	-6,555	131,100
上記累計	8,189	14,687	26,501	34,454	41,067	59,732	71,742	88,200	103,098	120,547	131,832	137,655			
17.8~18.7	11,371	17,846	12,007	10,043	8,430	16,814	17,230	16,034	12,772	13,888	9,381	5,215	151,031	-7,186	143,845
上記累計	11,371	29,217	41,224	51,267	59,697	76,511	93,741	109,775	122,547	136,435	145,816	151,031			

従業員数(人)	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	平均値	一人当たり 単位:千円/月額			
														売上高	粗利益	固定費	経常利益
19.8~20.7	8.0	8.0	8.0	8.4	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	0.0	0.0	8.6	1,465	1,222	946	334
18.8~19.7	11.4	11.4	12.4	12.4	11.0	11.0	11.0	10.0	10.0	10.0	8.4	8.5	10.6	1,080	896	807	140
17.8~18.7	18.4	18.4	18.4	18.4	18.4	17.4	13.4	11.4	11.4	11.4	11.4	11.4	15.0	840	640	763	-80

換算パート率は 0.4 人です。

仮計ベース(決算修正前ベース)

サービス業の例です。

3期間の中でも多少のばらつきはありますが、**① 概ね前半よりも ② 年が明けた後半から忙しくなる**ようです。

③ ただ決算月は受注も落ち着き、これであれば年明けから積み上げた利益に対する税金対策も決算月でゆっくりとできますね。
 前半と後半とで会社の忙しさも随分違うようですから、固定費をどのくらいの額で考えるか、また人員計画など多少難しい面があるかもしれません。研修や社員旅行は前半になどと計画できますね。

- ④** 前々期に比べ、前期、当期は売上高が減少しているようです。
- ⑤** ただ下段の従業員数の推移を見ますと前々期のピークの18.4人から当期は約半分の人員に絞っています。
- ⑥** 一人あたりの売上高も前々期の840千円から当期は1465千円と74%増えています。
- ⑦** また一人あたりの粗利益額も前々期の640千円から当期は1222千円とほぼ倍増しています。

月間粗利益額が一人当たり1000千円を超えてくると企業経営も順調であると言われるかもしれませんが、この会社では人員を絞って、社内の効率化を図り、一人あたりの月刊粗利益額1000千円超えを達成しています。

- ⑧** ただそれに連れて固定費が増加しているのは気になりますが(前々期763千円 当期946千円、24%増加)、
- ⑨** 経常利益は前々年の - 80千円という赤字から、当期は334千円という素晴らしい数字を計上されています。